

都市防災教育研究センターの開設にあたって

大阪市立大学は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の直後に全学的な文理融合の組織を編成して都市防災研究プロジェクトを立ち上げ、本学の重点研究の一つとして現地での調査研究などに基づく研究や、その成果に基づく学内外における防災・減災教育を推進して参りました。また、大学近隣の区と連携協定を締結して、地域と協働しながらコミュニティーにおける防災意識の向上に資するべく社会貢献を行ってきました。

このような約 4 年間にわたる実績を踏まえて、この度、大阪市立大学杉本キャンパス内に「都市防災教育研究センター」を開設することとなりました。同センターでは、東日本大震災後の新たな防災・減災の仕組みとして、都市大阪を基盤にした「いのちを守る都市づくり」による災害知の社会実装を展開します。これは大学が地域コミュニティーに働きかけて、いのちを守ることを第一義として、都市の災害リスクを精緻に評価し、適切な避難や災害対応につなげる防災リーダーを育成するとともに、防災拠点の計画・整備を通して、自助・共助による確かな防災力の向上を図り、コミュニティー防災システムの確立を目指すものです。

今後、都市防災教育研究センターではコミュニティー防災協議会との連携推進や協働する地域の輪を広げつつ、ローカルな視点での地域のニーズの把握に努めるとともに、国内外の防災関連研究機関・施設との連携を深める中で、グローバルな活動を志向していきたいと考えています。

災害が多発する中で、皆様方には一層のご支援・ご鞭撻をいただきながら、都市防災教育研究センターを発展させていきたいと考えておりますので、お力添え賜りますよう、よろしくお願い致します。

平成 27 年 2 月吉日
公立大学法人大阪市立大学
理事・副学長 宮野道雄